



Policy Book

Bridge to the Future
心懸け溢れる都市大阪の実現

一般社団法人 大阪青年会議所

大阪青年会議所は、「奉仕」「修練」「友情」を活動の基本として、「明るい豊かな社会の実現」を目指し、大阪のまちに住み暮らす人びとや子ども達の笑顔のために活動をしている団体です。



Bridge to the Future

～心懸け溢れる都市大阪の実現～

人と自然が調和し国や地域を越えた結びつきで世界は成り立ち、人と人が出会い繋がりがあって社会となっています。世界を一つの経済圏とするグローバリズムは、極度の貧困を減少させるなど一時的な恩恵をもたらしました。しかし、自らの利益を優先する利己主義な経済成長は限界を迎え、各国がこぞって自国の保護主義政策へと転換するなか、新型コロナウイルス感染症のパンデミックは世界の分断を加速させました。

これからのより良い未来のためには、私たちが世のため人のために尽くし相手を思いやる深い真心と、自らを磨き上げる高き志で互いを助け合い、高い壁を乗り越えて覚悟をもって突き進む、心懸けを基軸に大阪を再び成長させなければなりません。今こそ、民の力の結集ともいうべき浪華の八百八橋を現代に蘇らせ、あらゆる価値観の違いをも越えて共に成長する心と心を繋ぎあわせる、心懸け溢れる都市大阪を実現して参ります。

すべての出会い、そして一瞬一瞬を大切に
一人ひとりの心懸けが世界を変え、社会を変える
Bridge to the Future
未来へ繋げる懸け橋となれ

大阪青年会議所は1950年（昭和25年）、戦後荒廃の中、『『青年』それはあらゆる価値の根源である』との志の下、国家の再建と世界平和の実現に向けて日本で2番目に設立された青年会議所です。

2021年度も約700名の現役会員と約2,800名のOB会員が一丸となり、時流をつかむ柔軟性と時代を動かすエネルギーを最大限に発揮して大阪のまちのために行動して参ります。

結びに、多くの市民の皆様方、行政、企業、各種団体の皆様様の変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



一般社団法人 大阪青年会議所
第71代理事長
村尾 尚太郎



深い真心をもち 共育スタイルを確立しよう！

社会的ネットワークの分断による人と地域の繋がり希薄化は、地域での親子の孤立「孤育て問題」を生み出し、子どもが将来に夢や希望をもてなくなっています。今こそ、大人も子どもも共に成長を喜びあえる深い真心をもって、人と地域を繋ぎあわせる共育力を高め、大人と子どもが共生する社会を構築しなければなりません。今こそ、大人の成長が子どもの成長を促し、互いに成長する「社会共育力」と、家庭、学校、企業、行政などの枠を越えて連携し、子どもを育む「地域の連携」を創出します。



■ 互いに成長する共育力！

地域の繋がり希薄化により、親の経済格差に比例して子どもの貧困格差も増え、親子の孤立問題が深刻化し、子どもたちが将来に夢や希望をもてなくなっています。今こそ、模範となる立場として子どもと一緒に成長していく使命感をもって、すべての人が夢や希望をもてる社会を目指し、子どもの成長が自分の成長に繋がっていると思える深い真心をもって、子どもと大人の相互の成長を創り出す起点となって行動する人財を創出します。

■ 子どもを育む地域連携！

地域で人と人の繋がり希薄化が進むことで、孤育て問題が増加しています。地域の人びとが、子どもは「地域の子」と認識し家庭、学校、企業、行政などの枠を越えて子育てに関わる社会を目指し、喜びも悩みも子育てを地域全体で分かち合う、そんな地域社会を創らなければなりません。今こそ、人と地域の繋がりから、互いの成長を喜びあえる深い真心をもって、子どもの心を未来へ繋ぐ地域の連携を活性化させる人財を創出します。

若き人財の高い志で 世界をリノベーション！

日米中貿易摩擦、ブレグジットなど、これまでの流れに逆行するナショナリズムの影響で世界の分断化を起し、新型コロナウイルス感染拡大により流れを加速させました。分断化された世界をリノベーションするために、次代を担う若き人財から生まれる新たな価値を創造しなければなりません。今こそ、世界をリードしていくために、あらゆる困難を乗り越え、ひたむきに取り組む高き志をもつ人財が、環境と人の成長が好循環する社会発展と、SDGsを主軸とした誰一人取り残すことのない持続可能な経済成長を実現します。



■ 好循環する社会発展！

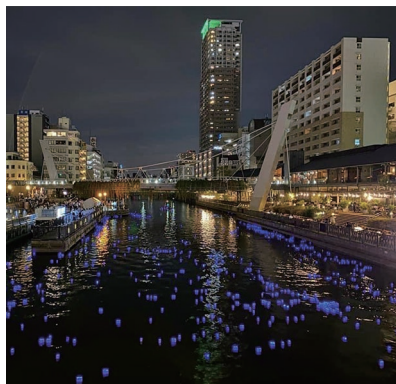
利己主義や自然の驚異により世界の分断化が進んでおり、社会の持続可能性が危惧されている現在、世界で起きている諸問題が自らの生活や将来の社会に影響を及ぼす可能性を認識しなければなりません。今こそ、様々な考え方の違いを受け入れ、今までにない新しい仕組みを創出し、自然環境と成長が好循環する社会発展に資する人財を創出します。

■ 新たな価値の創造へ！

新型コロナウイルス感染症の影響及び利己主義の蔓延による新たな時代を迎えた現在、日本人、大阪人が元来もつ公に資する精神性から生まれる新たなロールモデルの構築が必要です。今こそ、次世代担う若者の創造力と思考力で社会課題をビジネスで解決する為の仕組みを構築し、SDGsを主軸とした誰一人取り残さない持続可能な経済成長に挑戦し続ける人財を創出します。

世界に先駆けた 都市モデルを共創しよう！！

インバウンド需要を軸とした成長は綻びをみせ、国際社会との関係に頼り切っていたことで大きな社会変動に対する脆弱性を思い知らされることになりました。今こそ、誇れる精神性と時代を切り拓く人びとの力を結集し、新たな価値を生み出すレジリエントな都市モデルを確立しなければなりません。技術の進歩と共に変容する社会において、「持続可能な経済成長」と「新たな生活様式」の両観点から大阪の都市の産官学民と連携し、「共創」により都市に成長をもたらす新たな価値を生む人びとの繋がりを創出します。



■ 持続可能な経済成長へ

AI、IoT、DXなどのテクノロジーの発達により、急激な社会変化を迎えています。今こそ持続可能な経済成長の礎となる人的ネットワークを構築し、共創によるイノベーションを生み出す必要があります。多様性を受容してきた大阪人の精神性を認識し、社会を構成する人びとが立場を越えて互いに繋がりがあい、都市の強みに伝統と革新を掛けあわせ、あらゆる繋がりにから新たな価値創造へ挑み続ける人びとを創出します。

■ 新たなライフスタイルの創造

インバウンド需要における綻び、大きな社会変動に対する脆弱性を露呈しました。2025年大阪・関西万博開催への機運が高まる今、新たな時代に魅力ある都市として再び成長しなければなりません。生活様式の変化から人びとのコミュニケーションと生命について見つめ直す機会が求められ、心身の健康と幸福をもたらす新たなライフスタイルを市民主体で共創し、心の連鎖により持続成長する理想の都市モデルを広く発信する人びとを創出します。



青年会議所の広がり

国家青年会議所 National Organization Member

世界に115カ国存在する国を単位とした青年会議所です。
日本では、公益社団法人 日本青年会議所として活動をおこなっており、全国各地の青年会議所から1,800名あまりが出向しております。

各地会員青年会議所 Local Organization Member

大阪青年会議所など、青年会議所の最小単位です。青年会議所会員は、各地の青年会議所に所属しています。
(2021年1月現在 全国691LOM、約28,400名の会員が所属しています。)

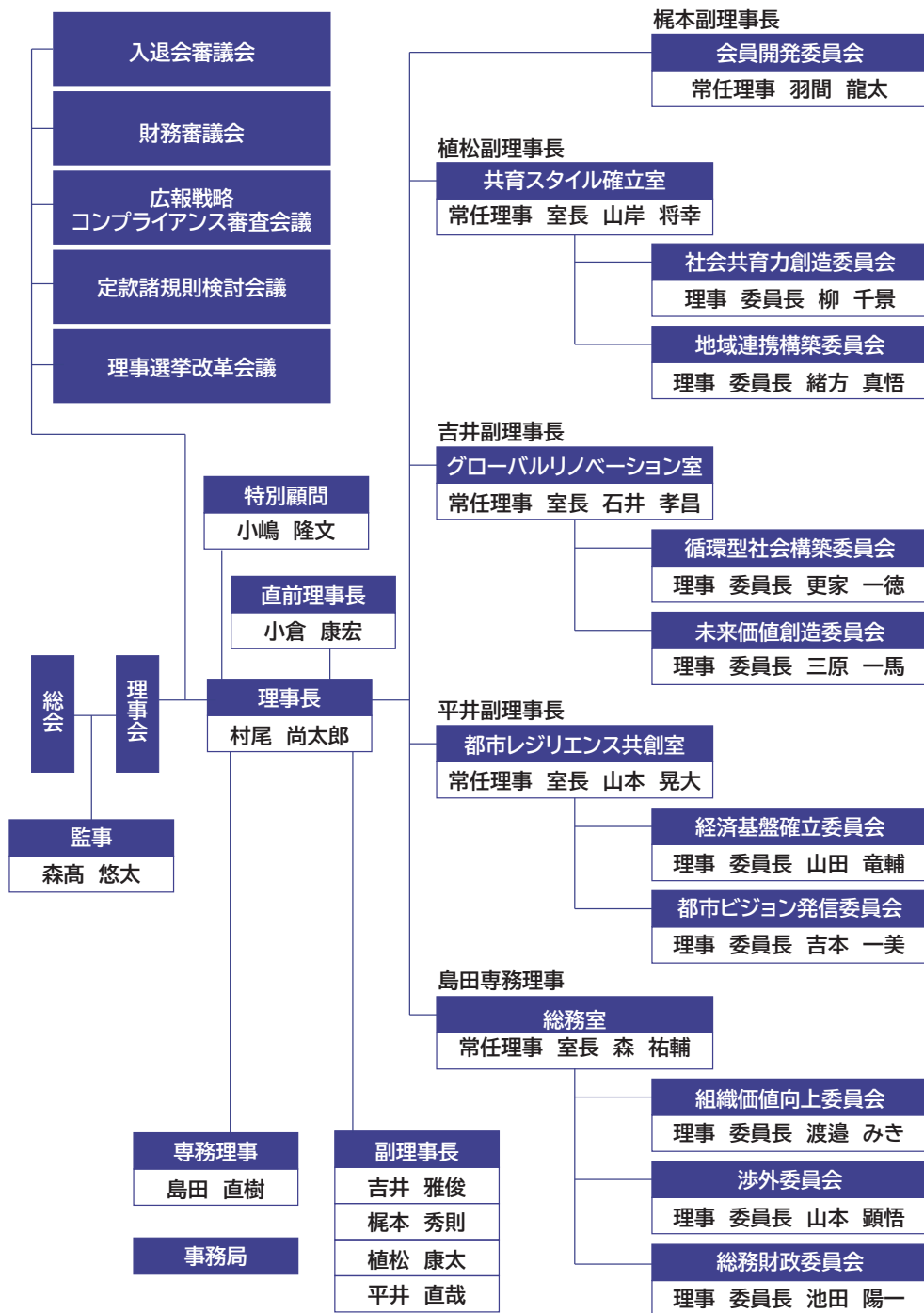
国際青年会議所 Junior Chamber International

世界中の青年会議所が進むべき方向を示す機関であり、2021年度は大阪青年会議所より会頭を輩出しております。
現在、加盟国数115カ国、約153,000名の会員が世界各地で活躍しています。

地区協議会とブロック協議会

地域青年会議所と JCI 日本の連携や調整を推進します。47 のブロック協議会と 10 の地区協議会があります。

2021年度組織



2021 年度 理事会構成メンバー

理事長  村尾 尚太郎	直前理事長  小倉 康宏	特別顧問  小嶋 隆文
副理事長  吉井 雅俊	副理事長  梶本 秀則	副理事長  植松 康太
副理事長  平井 直哉	副理事長  島田 直樹	専務理事  島田 直樹
監事  森高 悠太	常任理事・委員長  羽間 龍太	常任理事・室長  山岸 将幸
常任理事・室長  森 祐輔	常任理事・室長  石井 孝昌	常任理事・室長  山本 晃大
理事・委員長  山田 竜輔	理事・委員長  吉本 一美	理事・委員長  渡邊 みき
理事・委員長  山本 顕悟	理事・委員長  池田 陽一	理事・委員長  池田 陽一

団体概要

大阪青年会議所の歴史

団体名

一般社団法人 大阪青年会議所

創立年月日

1950(昭和25)年3月25日

社団法人格取得年月日

1955(昭和30)年1月17日

一般社団法人移行年月日

2014(平成26)年1月6日

事務局所在地

〒552-0007 大阪市港区弁天1-2-30 オーク4番街401号室

連絡先

TEL: 06-6575-5161 FAX: 06-6575-5163

正会員数

690名(2021年1月1日現在)

OB会員数

2,820名(2021年1月1日現在)

事業年度

1月1日～12月31日

URL

<https://www.osaka-jc.or.jp>

